

事業所における自己評価結果

公表

事業所名		こどもプラス豊見城教室3号館		公表日		令和 7年 4月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	7	0	半年に1回見直しを行い、新しい課題が出た場合にすぐに対応することができています。 都度出てくる課題に対してより細かく対応できるように話し合いを行います。	半年に1回ではなく、保護者・学校側と都度情報共有を行います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	利用者の適正や職員との相性等を考慮し配置しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	定期的に事業所内でミーティングを持ち振り返りを行っています。	ミーティングの機会を増やして、業務改善に進めていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	都度、訪問報告の機会を作り保護者の意向等を確認しています。	引き続き保護者の意向等の把握する機会を作り、業務改善に繋げていきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月1回ミーティングの場を設け、意見・困り感をあげてもらっています。	個別で面談等、従業員が意見を伝えやすい環境整備を引き続き行います。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	法人内での研修に参加しています。	研修を受講する機会を持てるように声かけを行っていきます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	アセスメントを取り、学校側と意見交換しながら、支援計画の作成にあたっています。	引き続き子どもと保護者にニーズや課題を客観的に分析し学校側と意見交換しながら支援を行っていきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	保育所等訪問支援計画を作成する際に、担当職員と密に話し合いを行い計画書を作成しています。	子どもの最善の利益に考慮し、担当職員と話し合い共通理解の下で保育所訪問支援計画を作成していきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7	0	アポイントを取り担任等と連携を図り、作成を行っています。	引き続き、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を取り入れた計画書の作成を行います。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	月1回会議の場を開き、保育所等訪問支援計画を共有することができています。	職員間でもう少し計画に沿った支援を行う必要があります。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用しています。	行動観察を行い分析し支援していることが現状であることから標準化されたツールを用いたアセスメントも適用できるように活用します。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	具体的な支援内容を設定しているが、助言等を伝える際に誤解が生じてしまうことが稀にあります。	訪問先施設の先生に助言をお伝えする際に不快感を与えないよう、具体的に支援内容を伝えられるようにいたします。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	定期的に事業所内でミーティングを持ち、計画書の共有を行っています。	引き続き定期的に事業所内でミーティングを行い、計画書の共有、計画に沿った支援を行います。

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	6	担当職員で打ち合わせし、訪問しています。	観察する視点（どこを見たらいいのか）について協議して連携を図ります。支援前には共有しているが、その日行われる支援の内容、役割分担については確認していない為、チームで連携して支援が行えるように改善する必要があると思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	理念や支援手法について尊重して支援を行うようにしているが、実施する際に共有不足になりがちな面がある為、改善が必要だと感じています。	支援終了後に、職員間で必ず支援の振り返りを行い、情報共有を行っていきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	1	訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているが、情報共有不足になってしまうことがあります。	訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行い、都度情報共有、確認作業を行います。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	訪問後は必ず記録を取り、次の訪問に繋げられるようにしています。	引き続き、記録を取り、支援の検証・改善に繋げていきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1回モニタリングを行い、保護者の意向の確認を行い、計画の見直しを行っています。	引き続き保護者や訪問先の意向の確認を行い、計画書の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	子どもの状況をよく理解した職員が担当者会議・関係機関との会議に参加しています。	引き続き、子どもの状況をよく理解した職員が担当者会議・関係機関との会議に参加します。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	定期的に主治医や協力医療機関等と連携して支援を行う体制を整えています。	引き続き、主治医や協力医療機関等の連携、地域と連携して支援していけるように体制を整えて行きます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	小学校低学年を対象に支援を行っているが、学年や学校が変わる際には、支援内容の情報共有と相互理解を図るようにしています。	移行の際には、学校と情報共有と相互理解が図れるように環境整備を行っていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	4	こどもプラス本部から定期的に外部研修があり参加して助言を受けている。	質の向上を図るために、専門家や専門機関等から積極的に助言を受け、外部研修に参加できるように声かけを行っていきます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	5		積極的に協議会やこども部会、地域の子ども・子育て会議等の参加が出来るように環境整備を行います。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	都度、保護者とこどもの状況共有を行い、発達の状況や課題について共通理解を持つようにしています。	引き続き、保護者とこどもの状況共有を行い、発達の状況や課題について共通理解を持つようにしていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	保護者が相談しやすい環境・時間を作るようにしています。	引き続き、保護者が相談できる場を作りつつ、家族等の参加のできる研修等の情報提供を行います。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		運営規定、利用者負担等について丁寧に説明を行っていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	保育所等訪問支援を開始する前に事前に説明を行っているが、訪問支援開始後に担当者に担任より質問されることがありました。	事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明できるように知識を身につけます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	保育所等訪問支援計画を作成する前にアセスメントを取る等、子どもや家族の意向を確認する機会を設けています。	アセスメントだけでなく、会議等を持ち子どもや保護者の意思の尊重、意向をを確認する場を作っていきたいです。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7	0	訪問支援を開始する前に保育所等訪問支援計画の支援内容の説明を行った後に保育所等訪問支援計画の同意を得るようにしています。	児童発達管理責任者だけでなく、担当者等も内容をしっかり把握します。

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	訪問支援の報告の際に、ご家族等が相談できる場を作り、必要な助言・支援ができるようにし、その場で回答できない時は、事業所に持ち帰り後日伝えるようにしています。	引き続き、ご家族が相談できる場を作り、必要な助言や支援を行います。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7	父母会等、保護者同士が交流ができる機会を提供出来ていません。	保護者会等、保護者同士が交流できる機会を提供できるように支援していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	こどもや保護者から相談しやすい環境作りをしており、相談や申し入れがあった場合には、適切に対応するようにしています。	子どもや保護者が相談や申し入れがしやすい環境を引き続き提供し、相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応します。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	公式LINEを使って定期的に活動に内容を発信しています。	公式LINEだけでなく、HPやSNS等を活用して活動概要や連絡体制等の情報を発信していきたいと思います。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いには十分留意して支援を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に留意して支援を行いたいです。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードを使う等をして意思の疎通を行っています。	意思の疎通や情報伝達に配慮が必要なご家族のために、今後も職員間でどのような配慮がきるのかを検討します。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	1	定期的に訪問先の先生等とお話する時間を設け、相談を受けた際には適切に対応を行っています。	訪問先の先生とお話する時間は設けているため、先生が相談しやすい環境を引き続き整備します。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	6	カンファレンスを行える職員が少なく、あまり実現出来ていません。	カンファレンスを行う機会を増やし、訪問先との情報共有を密に行えるようにします。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	訪問支援実施後は必ずご家族等へ支援内容の共有を行うようにしています。	訪問支援実施後は必ずご家族等へ支援内容の共有を行うと共に、専門用語ではなく分かりやすい説明の仕方を意識したいと思います。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いには十分留意して支援を行っています。	引き続き、個人情報の取り扱いに十分に留意して支援を行います。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	0	説明や助言が一方通行にならないように、訪問先施設から話を引き出すような対応を心がけています。	訪問先施設と信頼関係が築けるように適切な助言を行い、説明や助言が一方通行にならないように配慮していきたいです。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	防犯マニュアルについて今後追加します。	色々な緊急時に対してマニュアルを職員やご家族等へ引き続き周知するとともに、発生を想定した訓練の実施を行います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	こどもプラス本部が行っている安全管理の研修に定期的に参加しています。	引き続き研修に参加し、安全管理を徹底して支援を行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事業所内外で起こったヒヤリハットは共有し、再発防止に向けて職員間で話し合い検討することを定期的に行っています。	事業所内外のヒヤリハットだけでなく、想定されるであろうヒヤリハットの防止についても話し合い検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止の情報共有や認識すり合わせミーティングなどには参加している。	研修に参加しているが、職員全員が研修等に参加できる体制作り、情報共有や認識のすり合わせミーティング等を定期的に行います。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束についての説明を十分に行い、理解してもらった上で支援計画にも記載しています。	説明の仕方に十分に配慮して説明を行い、理解してもらった上で支援計画に記載を行います。